

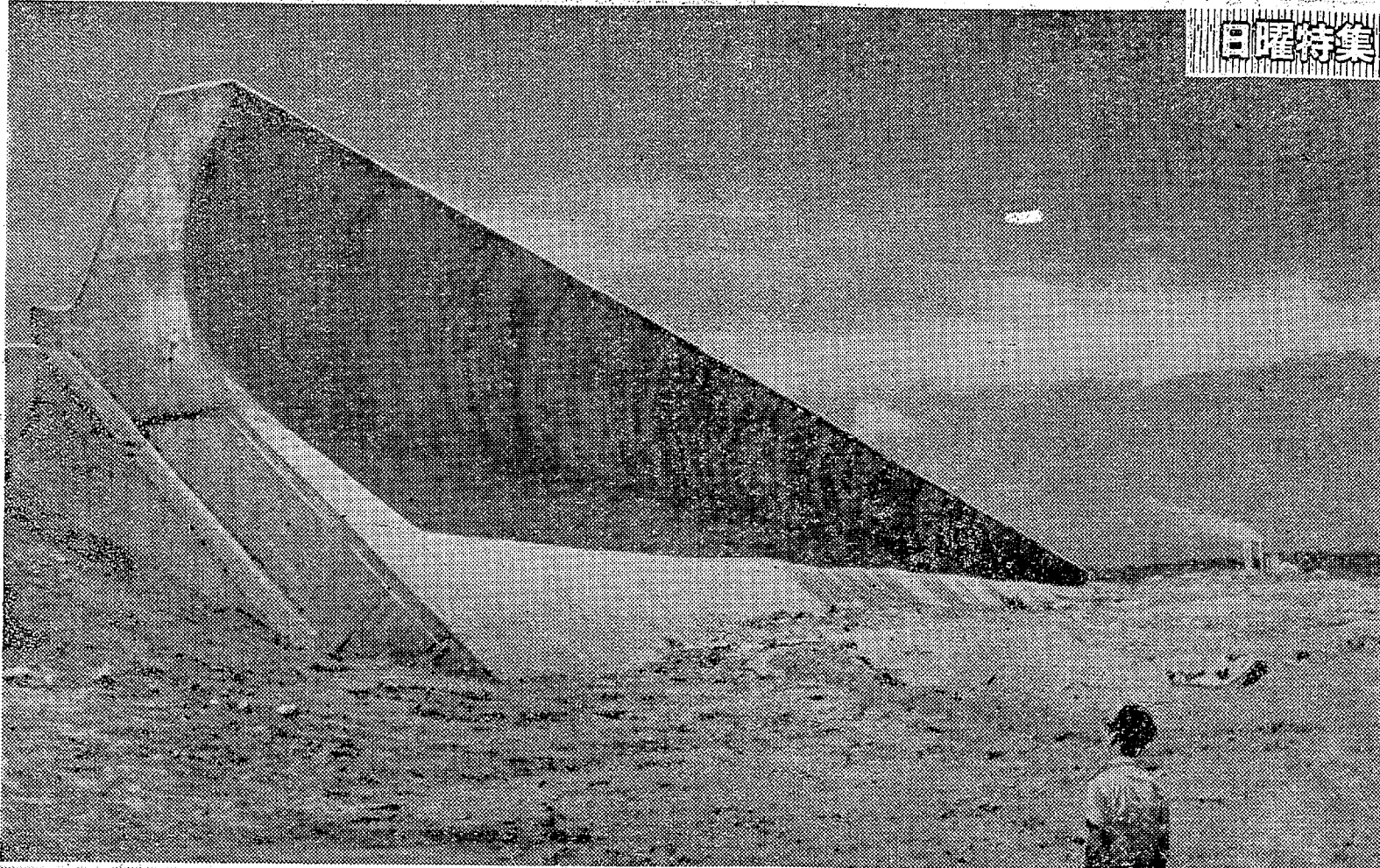
夕刊 いわき民報

発行所 平市田町63
©いわき民報社
社長 野沢武蔵
電話 (代表)4161
長替口座(郡山)4028

ナカヤの特選

紳士服と
替ズボン
各種取り揃え

ナカヤ
3-2-203

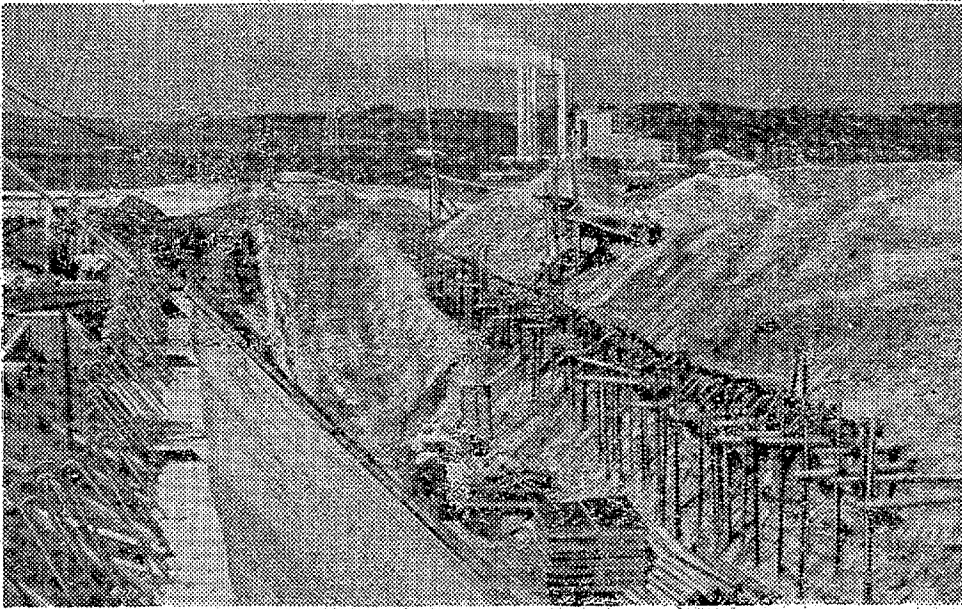


第二期工事で完成した延長三百八十二メートルの防潮堤、来年度中に坪小沢商店前から火力発電所まで連なる堅ろうな防潮堤が完成する

臨海工業地帯へ前進

勿来 急ピッチで進む防潮堤工事
海岸

県では約二億円の工費を投じて三十九年度から四十年計画で、(防潮堤建設)工事に着手



基礎工事現場、1桁を掘り下げ排水しながら地固めをする

ことしで三年目に入った。この工事は新産業都市指定によって一環クローズアップされたが、興業完成によって、広大な臨海工業地帯が約束され、住宅も高潮や、風浪から守る、いわは基礎づくりとなるものである。

第一期工事延長百七十メートルは三十六年度に、第二期三百八十二メートルは昨年度に完了。いま第三期工事中で、関田川と南町御前川三百十メートルの築堤を進めているが、約六十人の労働者が両側に分れて断続なく作業、地下水を掘り下げて基礎を固め水位から六メートルの高さの湾曲した築堤となるので、アイトン合風級の風浪、高潮にもビクともしないといわがんじょうである。

十一月中に完成見込みだが引き続き第二期工事約三百メートルに延長二千六百六十メートルの防潮堤が三十九年度末に完成、太平洋の荒波に打ちまかすことになる。

一連の工事は地元の勿来市錦町、錦興株式会社(佐久間清一氏)で請け負っているが、新産業都市指定を期に急ピッチで機械化工事を進めている。

きょうの話題

県民待望の常盤郡山地区新産業都市建設は十二日の定例開議で正式に決定された。念願かなって指定されたからには、われわれ地味住も夕子からボクまで、式の考えを踏まえ、明るい都市建設へ手をたすき分断、第一歩を踏み出す覚悟が必要だ。

△▽ 全国四十九所のなかから選ばれた十三カ所の新産業都市の一つに数えられた山地区は、国や県、自治体の積極的投資によって、四十五年までには工業地帯としての大方の体制が整い、五十五年には東北では八戸、仙塩地区と肩を並べる大工業地帯が造り上げられることになる。工場の誘致はもういよいよ、それに伴う交通量の増大を緩和する国道のバイパス道路、高速道路、小名浜港と新港を結ぶ国道の整備、十方タンカーも横付け出来るようになる小名浜港など、石城の地区は大きく盛り立てられる。



機械化工事進む第三期工事現場

△ 大分、鶴岡地区や北九州市など先進地区を視察して来た人達の話によると、大分では市町村議員が先頭に立って合併運動を進めているという。当地区も新産業都市に指定されたのを機会に、市町村合併はかりでなく、各議員や地域住民も熱心に市町村合併について考えて欲しいもの。市町村合併によって財政規模が大きくなり、産業基盤造成のための重点的投資が可能となる上、超額などの点でも有利となるため、地域開発はテンバを早めるが、いままでも各市町が重複投資のムダを行わないよう、市町村合併を真剣に考え、新産業都市の趣旨にそった地域市民のための建設を願いたい。用地造成に市民の協力を得るためにも、やむなくも任期はかりを計算して新産業都市を踏みかきしよう感を垂れてもらいたい。

故郷の風味を贈りましょう

名菓 じゃんがら



・祝 新産業都市指定

じゃんがら本舗

本店 電話5036 / 銀座店電話5037 / 湯本店電話2344

みや

